

資

料

★ 23°→～30°→

# 釜ヶ崎労働者の健康を守り 医療の名による 人権無視を打ち破ろう！

我々、釜ヶ崎に住む労働者はこの日々の労働、生活の中で、健康をそこなわれ、医療の面でも差別を受けています。特にアル中で精神病院へ入院させられ、その中で不当な扱いを受けてきた事に対し怒りを感じ、労働者としての権利を奪い返す為に共に ún おう！

## 労働者としての

### 権利を主張しよう。

(1) 「泊る所を要求できる。」 泊る所のない人は、宿泊施設を要求する権利がある。

(2) 「ふつつの病気で治療せし」 身体の病気の人は、ふつつの病気で治療を受け、入院する権利があります。

(3) 「病院で差別する」 入院された人が十分な治療を受けられない、他の人に差別的扱いを受けた人は、平等で十分な治療を要求できます。

### 精神病院でも

### 人の権利を守る

#### 不當な扱い

(1) 保健所、中更相、警察等により、不当に強制入院させられる。

(2) 入院期間が長すぎる場合（体が回復し、付けるべきになくなっている）でも過度に延長される。

(3) 相談違反の理由で、リハビリや医療ニヨットを行わざる場合。

(4) 二つ目は、毎日千四百八十円入りりますが、はっきりしなかったり、少い等。

(5) 平船を出しても内容を調べたり、出せない。  
(6) 電話なども切る。

精神病院へ入院させられた時に、必ず連絡山口とされ、どうも不適當だと思われる時、必ず連絡山口に連絡し、改めて知らせて下さい。（出でてから入院されて此の一ことをあらへん知識せよ）

精神病院のやり方に抗議し、変えていくことが難しい。どうも不適當な扱いをうけているか具体的に改めなくてはいけない。（出でてから入院されて此の一ことをあらへん知識せよ）

精神病院のやり方に抗議し、変えていくことが難しい。どうも不適當だと思われる時、必ず連絡山口に連絡し、改めて知らせて下さい。（出でてから入院されて此の一ことをあらへん知識せよ）

健康相談を受けつけます。（1月30日 令西中学校庭）ソフトボーリング大会（1月30日 午後2時～5時 無料）

万医者（こ）が来ますので、何でも気軽に相談に来て下さい。血压（せきこう）・脈搏（みはく）などもやります。

# 釜ヶ崎の医療はどうだ！ 俺達の命は俺達で守ろう

釜ヶ崎にむかへる通路を歩いて、路上での屋敷も結構のところを出て、ほんへりだ。しかし、依然として釜ヶ崎では、釜ヶ崎のうらやましい労働者たちは、こじく。合理化、それは仕事を中じとして釜ヶ崎地区生搬を、みそつこく。特に、医療の問題は、労働者にとって深刻な問題だ。田舎健康をもつて工場へ出でなければならぬ。行政任命にかかる医療の一ことに、釜ヶ崎は殺し、人間を殺していく。

一九七一年二月三〇日より一日田田までの歳年三月の中で、医療施設が設けられたり。釜ヶ崎で多くの問題が残された。健康診断をした人の中では、肝臓をやらいでいる人が多かった。効果患者は阪和病院と大和中央病院に残り、その待遇が悪さに気が付いた。人間以下の扱いは、医者の多くとんどろきで、医療に対する信頼を失った。人間以下の人間の扱いだ。医者よりカーディナル病院へ入院、少々の酒を飲んだぐらいで、精神病院へ送る事が出来、へたをすりに頭から、廟へ葬り下され、無縫合となってしまった。冗談じゃあない。泉州病院で口蓋の伸縮を困らしてまで、非人間的で病院の待遇を改善させた。悪い病院、何を貢献かとせざるをいう。釜においては、自分達でやるだければ、何も獲得できまい。小さな力でも、町縮じて大きくなるいや。特に体が原本の城など、この、普及や医療保障の権利をからくねばならない。そして多くの人を通院治療で見る。田舎健康の拡大と条件改善を図らう。そして軽い傷ぐらいいなら、皆で救急箱を作ることをおこしにこう。今まで釜ヶ崎を、行政は労働者対策として、組合は、労働者としてしか扱はなかつた。労働者の命を守る医療の問題を皆が考え、困窮して改善していく、「釜ヶ崎医療を考える会」で、毎年三月の医療施設を中心とした総評会。

○病院での差別待遇や治療上の不安。

## 8 健康保険や生活保護のこと。

- 酒ヒアルコール中毒や肝臓病のこと。
- 精神病院や警察での扱い。
- 医療セニターや救急病院のこと。
- 健康診断や健康相談

その他の多くの問題があると思うが、少しつづ、日常生活の中の問題を申し述べたい。

多くの労働者の知恵と力と団結を。

一九七一年四月一日

田原区東入船町一六 小田アパート内  
釜ヶ崎医療を考える会

無料

健

康

診

断

○自分の体は、自分でやんどうみよう。

○悪い病院、医者を訴え、我々の手で改めよう。

(みんなの医療相談を行います。) センタ。

日時：五月十四日(日曜)一時～五時

場所：

三田公園

会議開催を考える会

金ヶ崎医療ニュース 3号  
労働者の為の

# 健康診断実施

1972-5-13

金ヶ崎医療を考える会

仕事中めまいがしたり、頭が痛くなる人  
のどがむれたり、体全体がだるくなる人  
手足が重く人できたり心臓がドキドキ  
速くうつ人。。。。

一度 健康診断をうけてみよう。

場所 三角公園

日時 5月14日午後1時～5時

連絡先 大阪市西成区東入船町16  
トロス 中村 気は

今の病院はいったい誰の為にあるのか  
病人の為か? それとも金もうけの為か?  
それは金ヶ崎のまわりの病院ながら目瞭  
然だ金のない労働者を"といふことでよみても  
えなかつて、差別的でないひ目にあけ世人の人

がたくさんいるといつ。

労働者の体で金もうけして労働者の体  
を×チャラにする病院は絶対に許せない。

自分の体は自分で知らう  
そして病気やあつた時に治すのに良い  
方法をみつかるよう自分自身をかけあつ  
病院にデラダメでせないよう自分自身で  
監視しあつう。

ひと回り目にみて回っている人連絡用  
いらっしゃるに薦えましょう。



## 医療相談受付票

日 日辰  
受付者

氏名	年月日(年)
住所 (ドヤ名)	反人 連絡先 (郵便)
病名	救急車、センター、中東相、 入院期間 年月日～年月日
八段病院	

×モ

このハガキは、あなたが、どこで、どのような理由をうけてい  
るのか教えてもらいたい、共に問題を解決していくための物です。

病院で困った事、腰の立つこと、連絡したい事、どんなことでも書  
いて出して下さい。電話でもいいです。毎日、午後1時～夜8時。  
ばんごうは〇〇-31-2383。バスにも行けない時、書く物がなく  
連絡したい時は、電話して下さい。面会にも行くつもりです。

(1) 今、何か困っていること、足りない物はありませんか?

病院、施設などに対する不満を書いて下さい。

(2) あなたの隣に、隣家、施設は、どこか、何という名ですか?

(3) いつから、そこに入り(通いはじめ)ましたか? いつまで出  
どうですか?

(4) 今いる施設、病院は、どういう方法で行きましょ?

救急車、センター、他( )

(5) 病名は何と(こんな)されましたか?

(6) 連絡したこと、(1)のことを教わる、その他何でも書いて下さい。

あなたの氏名は

\* これは医療を考える会へのアンケ  
ート用ハガキです。

労働者のための健康診断実施!

仕事中、女郎に会したり、頭が二度くだりへ、おじがうつむいたり、体全体でうつむく。ハリスの口、金子晴太の口固く、薄井純蔵をしめ。口は追いつかれていた。

# 釜ヶ崎医療ニュース

金ヶ崎メーターへ参加した仲間たゞくアリ中等、病氣がなかなか直らぬ、「病院へ行く」医者に付せりうつてかえって悪くなつた。俺らをとりまくへ医療へは、ちつともメー  
高い金をふくらまないで口々にみどりえむい「医者や看護婦の人を大力にして態度に變なたよ。  
「医者に付せりうつてかえって悪くなつた。俺らをとりまくへ医療へは、ちつともメー  
じん医です。この医師がおひこ一医療へは、このため健達の生命があさやかになつてます。治療には大  
き悪くしてくる者、そして年三三百人の仲間を行ふに手を貸すがやうに思ひます。  
「医者に付せりうつてかえって悪くなつた。金ヶ崎医療を考える会は活  
動を始めました。され、みんなが国結しなければ、金だけとて病気を治すべく今の医者たたがひに活  
用する方法を作らねばならぬと考へて、病院をひ  
くにあつた経験のある人、片岡や健磨院長など困った、仲間が交わして意見なり、画二つが活躍す  
人扱書く精神病院での感想と因縁(佐藤の精神病院を退院して)  
俺は今人の仲間一人である。金の飯を食ひ、酒も飲んだ、でも俺の腹の酒を飲んだ。その  
うちに、俺はやにコート中等して精神病院へ送られた。その

精神病院の公認の所だ。川も東洋の病院で、和川病院といつて、川口にあつた。看護人も満足に居らず、同病人が薬を飲まざりたり、種々な不適な事があった。その憂鬱的で、ヒトの薬を手に取つて、でも便りに了した病院は、その割で七〇%近く、た。看護人も困つたし、「テントキ」モービル程つづくいた。飲食業も出だした。一度、花見時に、入ったので、バスを租借して、山城を貸せばよかった。お蔵入りで、二千五百七十円ほど、仲間の七〇%に帰らなければならなかつた。体も今ではよくない。ナリ三日ばかり大浴にも出らなくなつた。

でも、泉州病院に比べて、前に述べた大利川病院は、仕事がつづいて、精神屋で何とかつて、棟の外へ我々の仲間を送り込んで、どううか? もう、勿論ハーネーの一言にはまだ早い。僕は絶対に反対だ。いそゞえ精神科で送り出されることは、決してないが、やへた精神科へこしやう。

日本と「二国四半世紀」がここ「セントヘネ」の名前で、何と何と日本と西欧の歴史がここに重なる。

現在、ハーネーは金子博士を以て行なつて、日本ではひつか、今朝から本腰を向けてやうだ。仲間たち

金井崎医療二五二

金午曉原釋者之會  
而或已東回西回則馬之全氣也  
二二八三

入院心得錄

小人故可入也。子云曰：「吾子之不見也，非吾子之不見也，見而不知也。」

知二十一

病氣したり、ケガをして入院した時、多くの皆  
竹若林、知らぬでそんぞの事を特集しまし

卷之二

卷之二

診察せあります。

◇警車を入院した人、行旅病扱いの人

夕陽所  
萩原和山著

皇朝詩林卷之二十一

五年七百十円であります。しかし、相手販賣所だから

外へ出でて、金を手に取る事、なまく。せうや。

火葬院へこしゆうこからでは、金はとれない。

福祉事務所は、区役所（事務室）の中にあ  
ります。

△日雇賃保で入院した人、休んでる人

八月の土日、休業した日から三日後から、一日

（二）一九一七年五月三十日、年譜

うつたら、ヒミツが手帳をこね出す。

スル時也。本より人情體が種種重複して生ずる。

保謹手続をとつて、行旅の時と同じく

卷之三

卷之三

洪武甲子正月廿二日

（二）（三）（四）（五）（六）（七）（八）（九）（十）（十一）（十二）（十三）（十四）（十五）（十六）（十七）（十八）（十九）（二十）

靈鷲經

卷之三

大震于西郊，又震于南門，且日出地平。

卷之二十一

立場から、顧問の井澤士、医師の植村義久、井上翠

卷之二

精神病院、教育病院等

無料医療相談室が始まりました。

金匱要略

第5号  
7月12日

金  
卷之三

631-  
2383

景一連が、やがて現れた。食欲可憐り、南京、熟成米や麦飯、玉ねぎ、食す。かく如也。

体をいためし、から、体をとての我へしておきながら。これにてやがてして頭を下す。

山縣在レレレレ

場合は頭痛、寝苦戦、あくびで、重い時又、高い

ヨーベがお出でなつておひこもござり、人H着用  
料、人H其時料、たゞが、歸宅お出でなつて、

政治小説の歴史

す。心地よい、又は不快な感覚が、何時も何處かに現れる事がある。これは、半端なものではあるまい。

國之有國，則國之有國也。國之無國，則國之無國也。

栄養を十分とつて……

卷之三

金を渡し、ついで手渡した。おまけに、おまけにタバコ、シガレット

四百九十九。通志。卷一百一十五。  
通志。卷一百一十五。

不足したところに於ては、田舎の音、そして山の音、山野の音が聞こえます。

五刀の鷦鷯の話から

我のせうと一五五に西國にや、一五五に東國に

は二十一日。穂も赤の舞木をつとめ  
金子の手。

國之有司，則其事也。故曰：「子弔于其父母之邦，則是子弔于其父母也。」

へ及んで近づく傾向がある。これは常に共に飲用を問題にする高血圧や肝機能障害の原因で

なる。高齢に被絶する事だ文書。

曰燭，入一燭入火燭也。行，正入也。名之曰燭。

七夏二冬一病死……

お世話だおひに誠意をつくせなかつたけりが、  
國からモ亘に知悉を出しめし。一歩く御國

無料医療相談

• 214 = 214 - 214 = 0, 214 + 214 = 428.

毎日正午ごろ夜を晦まで、鷺鳴の会